

2024年11月6日

## DENSO KOBELCO SARD GR Supra 第8戦もてぎ、 奮闘の5位フィニッシュ

SUPER GT 第8戦もてぎレポート

### 2024 SUPER GT 第8戦「MOTEGI GT 300km RACE」(11/2-3)

#### モビリティリゾートもてぎ(1周4.801km)

入場者数：予選12,300名、決勝30,000名 合計42,300名

11月3日(日) SUPER GT第8戦「MOTEGI GT 300km RACE」の決勝が行われ、7番グリッドから精励恪勤に勝利を目指していったスタート担当の関口は、オープニングで2台をかわして5位にポジションアップ。膠着したレース展開の中で2回のFCYを挟みながらトップ差20秒以内をキープ。上位陣のピットインとともに24周を終え中山と交代。その後も遅い車両の後ろでFCY中に前との差を詰められる不運もあったが、前後とのギャップが一進一退の緊迫した状況の中で、中山が長い第2ステントでマネージメントしながら最後まで懸命なドライビング。幾度も中断された雨の公式練習走行から始まり雨の公式予選、一転して快晴となった決勝と、このレースウィークは難しい状況ながらも奮闘の5位フィニッシュとなった。ドライバーポイントは6点を獲得しランキング6位(計45点)に、チームポイントは9点を獲得しランキング6位(計60点)となった。第5戦の延期分となる次戦最終戦は、12月7日(土)・8日(日)に鈴鹿サーキットにて300kmレースとして開催される。

#### ■事前情報

前戦第7戦オートポリスでは、4年ぶりとなる歓喜の優勝を飾ったDENSO KOBELCO SARD GR Supra。いよいよ2024年シーズンも残り2戦で、第5戦鈴鹿の延期がなければ最終戦であった第8戦「MOTEGI GT 300km RACE」。11月2日(土)午前公式練習、午後Q1+Q2のタイム合算式の公式予選、3日(日)決勝は13時スタート。レースは、300km(63周：約2時間)で争われ、ピットストップは1回。1人のドライバーの最大運転周回数は42周まで。サクセスウェイトは現獲得ポイントとイコールとなる39kgを搭載する。重量増によるもてぎでのタイムの落ち込みは、39kgだと約0.6秒ほど。タイヤの持ち込みセット数はドライ4/ウェット5セットで、決勝スタートまで使うドライのマーキングは4セットとなる。

モビリティリゾートもてぎは北関東に位置し、中低速の様々なコーナーを配したストップ&ゴーの多いレイアウト。オーバーテイクポイントが意外と少なく、非常に抜き難いため予選順位が重要視されるコースである。チャンピオンを争うタイトル挑戦権を懸けた最後の関門でふるいにかげられるため、各車とも公式予選から激しく僅差の過酷な戦いが予想される。ランキングリーダーとはドライバーズタイトルで14ポイント差であり、タイトルを狙うには大量得点を残り2戦とも獲得して、ランキング上位より前でフィニッシュが望まれる。今回もフルポイントを狙ってチカラの限りを尽くし、まずはグリッド前方を獲得するという最初のミッションをクリアし、脇阪寿一監督のもとチーム一丸となって、全力を尽くして務め励み、決勝は精励恪勤(せいれいかつきん)に勝利を目指していった。



## ■公式練習走行

2日（土）9時から開始された公式練習走行は、気温15度/路面温度18度と、肌寒く冷たい雨の降りしきりで混走セッションが始まった。まず関口が、クルマの確認のために1周走行するとコースアウト車両があり、すぐに赤旗中断。8分後に再開され、3周目に1分57秒887の6番手タイムをマークした関口。だが再び雨が強くなってコースオフ車両が多くなって、9時15分頃に2度目の赤旗中断。雨は強く、約25分間中断され、9時40分から再開。公式予選も雨と予想されるため、関口がウェットでのセットを進めていった。約6分後に3度目の赤旗で、9時52分から再開。10周目からは中山がステアリングを握ってコースインしたものの、すぐに4度目の赤旗中断に。気を取り直して10時15分から再開された中、12周目に中山が1分53秒577のその時点で8番手タイムをマークした。そのまま次の周もコンマ9秒ほど削りながら周回していたところ、残り2分でコースオフ車両があったため、5度目の赤旗でそのまま混走セッションが終了。この後、さらに天候が悪化し、GT300クラス専用セッションが途中で赤旗終了し、GT500クラスの単独セッションもキャンセルされ、わずか13周走ったのみで公式練習は終了となった。セット調整も十分に進められないまま走行がキャンセルされる結果となり、公式練習走行は、混走セッションでのベストタイムのまま11番手となった。雨となるであろう午後の公式予選に向けては難しい状況となった。



## ■公式予選

### ■Q1：関口が雨量が多いQ1で踏ん張って5番手タイム

2日（土）25分遅れの14時53分から開始されたタイム合算の公式予選Q1は、気温18度/路面温度19度で雨量が多いウェット路面。午前中、走行不足もチームとクルマを信じて乗り込んだ関口。メディア系のウェットタイヤを選択し、開始すぐにコースインした関口は、タイヤを丁寧に温め、雨量が多く滑りやすく、タイトロープを渡るかのような難しいコンディションの中で3周目からペースアップしてアタック。3周目に1分51秒858の8番手タイム、4周目に1分50秒835のその時点で3番手タイムを記録。5周目もアタックを続け、セクター1を、前周からコンマ2秒以上削って28秒0台を計時、続くセクター2もコンマ1秒削る勢いのある走り。セクター3もコンマ1秒削ってきて、期待がかかるセクター4で僅か0.06秒ほど前周から遅れた結果、自己ベストをコンマ4秒以上削る、踏ん張った走りを見せて、1分50秒408の5番手タイムとなった。



### ■Q2：中山が僅差のQ2で11番手、合算では7位に

2日（土）15時49分のQ2開始時点は、気温18度/路面温度19度のまま。雨量は少なくなったがウェットの難しいコンディション。関口と同じメディア系ウェットタイヤを装着した中山は、早めのペースで前後の間隔をコントロールしながら5周目アタックと決めてタイヤを温めて行った。5周目セクター1を関口とほぼ一緒のタイムで入り、続くセクター2をコンマ2秒以上削り、セクター3もコンマ2秒削った中山。大きな期待がかかったセクター4で僅かにロスしてしまい、24秒59と前周タイムを削れずタイムがあと一歩伸びずに1分49秒893の11番手タイム。ウェットコンディションながら非常に僅差となったQ2で、ほんの少しのロスで大きく順位が変わる厳しいQ2の結果、公式予選合算タイムでは7位となった。まだドライセットを確認できていないが、チームが一体となって7番グリッドから晴れとなるであろう決勝での逆襲を誓い合って、明日の決勝への準備にとりかかった。



## ■決勝

### ■ウォームアップ走行

3日（日）11時30分から20分間行われたウォームアップ走行は、まず中山が決勝に向けて使っていないドライタイヤのベディング（皮むき）を数セット行い、3周目からは関口が上位タイムを刻みながら6周目に1分39秒916の5番手タイムを計時、8周目から再び中山が走行してクルマとタイヤを確認。ウォームアップはトータル10周を走行し、1分39秒916の5位で決勝への準備を終えた。決勝前には、歴史あるラグビーの強豪チーム「コベルコ神戸スティーラーズ」に所属し、共同キャプテンも務める、ラグビーの世界的スーパースター：プロディ・レタリック選手がチームの応援に、2024年パリオリンピック・フェンシング 個人・金メダリスト&男子エペ団体・銀メダリストの加納虹輝選手が中山雄一選手を応援に来場。決勝前のピットは華やかな雰囲気にも包まれた。

### ■決勝レース

#### 第1ステイント：関口がオープニングで2ポジションアップ！

3日（日）気温21度/路面温度32度の中、13時から栃木県警パレードラン&フォーメーションラップがスタート。ソフト側ドライタイヤを装着して、7番グリッドから精励恪勤に勝利を目指していったスタート担当の関口は、オープニングで14号車と16号車の隙を突いて一気にかわして2つ順位を上げる5位にポジションアップして場内を沸かす走り。抜き難いもてぎのコースで、その後は膠着したレース展開となった中で2回のFCYを挟みながらステイント前半はトップ差10秒以内に、ステイント後半で差を広げられたがトップ20秒以内をキープする走り。上位陣のピットインとともに24周目に関口をピットに呼び戻した。



#### 第2ステイント：中山が最後まで懸命なドライビングで5位フィニッシュ

中山も関口と同じソフト側ドライタイヤを装着。素早いピットワークで送り出すと、アウトラップから速さを見せる中山。遅い車両の後ろでFCY中に前との差を広げられる不運もあったが、前後とのギャップが一進一退の緊迫した状況の中で、中山が長い第2ステイントでマネジメントしながら最後まで懸命なドライビング。幾度も中断された雨の公式練習走行から始まり雨の公式予選、一転して快晴となった決勝と、このレースウィークは難しい状況ながらも奮闘の5位フィニッシュとなった。ドライバーポイントは6点を獲得しランキング6位（計45点）に、チームポイントは9点を獲得しランキング6位（計60点）となった。第5戦の延期分となる次戦最終戦は、12月7日（土）・8日（日）に鈴鹿サーキットにて300kmレースとして開催される。



## ■関口 雄飛



「オートポリスからのクルマの好調さを維持できてはいたと思います。雨の公式練習／公式予選で晴れの決勝と、ほんの少し合わせ込みが足りなかった気はしています。決勝はFCYで遅いクルマの後ろになって後続に詰められたりの不運がありましたが、ペース自体は良かったので、次の鈴鹿に向けてしっかりと準備し、チャンピオンの権利は無くなって残念ですが、今季3度目の表彰台は、真ん中の位置で有終の美を飾れるように頑張ってます。引き続き御声援よろしくお願いします」

## ■中山 雄一



「多くの皆さんに前回の勝利をお祝いいただき感謝いたします。ありがとうございます。今回、上位陣に比べて強い戦いができず悔しいですが、限られた時間の中でサードらしいやり方で着実に前に進むことができました。今回はうまくいかなかったけれど今回得られたことは大きく、これを最終戦鈴鹿にしっかりとつなげたいと思います。最終戦は1年間の答え合わせ！絶対に優勝です！引き続き、ご声援のほどよろしくお願いいたします」

## ■監督 脇阪 寿一



「チャンピオンの権利が無くなって、残念な気持ちはありますが、チームのクルマに対する理解度や、レースに挑む準備レベルも格段に上がり、チームの成長を感じています。最終戦鈴鹿で良い闘いを皆様にお見せしたいと思います」

## ■ Qualifying Result

Pos.	No.	Car	Driver	Total Time	SW
1	64	Modulo CIVIC TYPE R-GT	伊沢 拓也／大草 りき	3'37.911	7
2	8	ARTA MUGEN CIVIC TYPE R-GT #8	野尻 智紀／松下 信治	3'38.292	26
3	36	au TOM'S GR Supra	坪井 翔／山下 健太	3'39.088	53
11	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	関口 雄飛／中山 雄一	3'40.301	39

天候：雨、コース：ウェット

## ■ Race Result

Pos.	No.	Car	Driver	Time/Diff	Laps
1	36	au TOM'S GR Supra	坪井 翔／山下 健太	1:53'50.242	63
2	8	ARTA MUGEN CIVIC TYPE R-GT #8	野尻 智紀／松下 信治	+20.513	63
3	38	KeePer CERUMO GR Supra	石浦 宏明／大湯 都史樹	+27.554	63
5	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	関口 雄飛／中山 雄一	+33.429	63

天候：晴れ、コース：ドライ、4.801km×3h (63Laps)

## ■ Drivers Ranking

Pos.	No.	Driver	Total
1	36	坪井／山下	74
2	100	山本／牧野	56
3	38	石浦／大湯	52
6	39	関口／中山	45

Point standings after Rd.8

## ■ Team Ranking

Pos.	No.	Team	Total
1	36	TGR TEAM au TOM'S	91
2	100	STANLEY TEAM KUNIMITSU	74
3	38	TGR TEAM KeePer CERUMO	70
6	39	TGR TEAM SARD	60

Point standings after Rd.8

## ■ Partners



## ■ 情報参照先

- サード公式サイト : <https://www.sard.co.jp>
- SARD Facebook : <https://www.facebook.com/SARD.Corporation>
- SARD Twitter : [https://twitter.com/SARD\\_Racing](https://twitter.com/SARD_Racing)
- SARD Instagram : [https://www.instagram.com/team\\_sard/](https://www.instagram.com/team_sard/)
- SARD YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCb5NIgwvcB7MtooRFaF5FVA>
- SUPER GT : <https://supergt.net/jp>



■ 本リリースに関するお問い合わせ先：チーム広報担当：宮本 e-mail: [media@sard.co.jp](mailto:media@sard.co.jp)

**SARD**

株式会社 サード

〒473-0914 愛知県豊田市若林東町上外根50  
TEL. 0565-53-1166 FAX. 0565-52-5482

[www.sard.co.jp](http://www.sard.co.jp)